# 最新トピックス

■ 2017年10月25日

## 金沢大学がん進展制御研究所50周年記念国際シンポジウム

金沢大学がん進展制御研究所は、今からさかのぼること50年前の1967（昭和42）年に金沢大学附属結核研究所と医学部附属癌研究施設との統合により、がん研究所として設置されました。そこで、昨年10月25日に当研究所と金沢国際がん生物学研究会の主催で、50周年記念国際シンポジウムおよび記念式典・祝賀会を金沢東急ホテルにて開催いたしました。シンポジウムでは、当研究所の先進がんモデル共同研究センター上皮幹細胞研究分野のNick Barkerリサーチプロフェッサー（シンガポール科学技術庁医学生物学研究所研究部長）の講演を皮切りに、中国復旦大学上海がんセンターのDa-Qiang Li教授、韓国ソウル大学精密医療センターのSeong-Jin Kim教授、シンガポールDuke-NUS医科大学Cancer and Stem Cell Biologyプログラムの David Virshup教授から、上皮幹細胞の発がん機構やがんの新たな分子標的治療に関するご講演をいただきました。シンポジウムの最後には、当研究所腫瘍内科研究分野の矢野聖二教授が分子標的治療薬に対する耐性化機構に関する最新の研究成果を発表し、多くの参加者を得て盛況のうちにシンポジウムの幕を閉じることができました。

**50周年記念国際シンポジウム（ご講演をいただいた先生方）**
左から当研究所先進がんモデル共同研究センター上皮幹細胞研究分野
Nick Barkerリサーチプロフェッサー、中国復旦大学上海がんセンター Da-Qiang Li教授、
韓国ソウル大学精密医療センター Seong-Jin Kim教授、
シンガポールDuke-NUS医科大学・Cancer and Stem Cell Biologyプログラム
David Virshup教授、当研究所腫瘍内科研究分野 矢野聖二教授

閉会挨拶
金沢大学 大竹茂樹理事

## ■ 50周年記念式典

シンポジウムに引き続き挙行された記念式典では、ご来賓としてご出席いただいた衆議院議員 馳浩様、文部科学省研究振興局 関靖直局長、日本癌学会 宮園浩平理事長、国立研究開発法人国立がん研究センター 中釜斉理事長、公益財団法人がん研究会がん研究所 野田哲生所長には心のこもったご祝辞を頂戴いたしました。式典の最後には、当研究所前所長の大島正伸教授が「金沢大学がん進展制御研究所50年のあゆみ」をスライドで紹介した後に、平尾敦所長がこれまでにご支援、ご協力をいただいた関係者各位に感謝の意を表するとともに、世界トップレベル研究拠点プログラム（WPI）に新たに参画することも踏まえ、当研究所のさらなる飛躍に向けた抱負と決意を述べました。

**50周年記念式典　（ご来賓の皆様）**
左から衆議院議員 馳浩氏、文部科学省研究振興局 関靖直局長、日本癌学会 宮園浩平理事長、国立研究開発法人国立がん研究センター 中釜斉理事長、公益財団法人がん研究会がん研究所 野田哲生所長

金沢大学 山崎光悦学長　当研究所 平尾敦所長　金沢大学がん進展制御研究所50年のあゆみをスライドで紹介する大島正伸教授（前所長）

## 記念祝賀会

記念祝賀会では、大学院博士課程を当研究所の吉川寛教授（当時）の研究室で過ごされ、がんの転移研究で当研究所の発展に多大な貢献をされた金沢大学超然プロジェクトの清木元治特任教授（元当研究所教授）に乾杯のご発声をいただいた後は、100人を超す多数の参加者で賑わう会場の随所で歓談の輪が広がっていました。記念式典および記念祝賀会にご来賓としてお迎えした東京医科学研究所 村上喜則所長にはご丁寧なご祝辞を頂戴し、また昨年当研究所の教授を退職された佐藤博名誉教授からは心温まる思い出話と励ましの言葉をいただき、お陰様で盛大な祝賀会となりました。

この50周年を新たなスタートとして、当研究所は「がんの悪性化進展機構」に関する研究拠点としての使命の達成に向け、より一層尽力して参ります。今後とも、皆様のご理解とご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

東京大学医科学研究所 村上善則所長　金沢大学超然プロジェクト 清木元治特任教授　金沢大学 中村信一前学長　金沢大学 佐藤博名誉教授

# シンポジウムの開催

■ 2017年10月26日

## 金沢大学がん進展制御研究所共同利用・共同研究拠点シンポジウム

金沢大学がん進展制御研究所共同利用・共同研究拠点シンポジウムが、50周年記念国際シンポジウム、50周年記念式典・記念祝賀会に続くイベントとして、翌日の10月26日（木）に金沢東急ホテルにて開催しました。当研究所は平成23年度から「がんの転移・薬剤耐性に関わる先導的共同研究拠点」を担う全国共同利用・共同研究拠点として活動していますが、その活動の一環として、共同利用・共同研究拠点シンポジウムを、毎年金沢で開催しています。

平成29年度は、国内共同研究56件、国際共同研究7件（H29年12月1日現在）を採択しています。今回のシンポジウムでは、採択された課題の中から、梶原健太郎助教（大阪大学）、邊見弘明准教授（和歌山県立医科大学）、下野洋平准教授（神戸大学）、三森功士教授（九州大学）、大澤毅特任教授（東京大学）に口頭で研究成果を紹介いただくとともに、当研究所からは、卓越研究員の武田はるな助教が口頭発表をしました。また、口頭発表を除くすべての採択課題については、ポスターでの発表をしていただきました。シンポジウムは朝8時からのスタートでしたが、97名のみなさんにご参加いただき、ポスター発表、口頭発表、いずれも活発な雰囲気が肌で感じられるほど、大変好評に終了しました。

共同利用・共同研究拠点シンポジウムでは、広範囲のテーマに及びます。馴染みのない話題や技術についての理解が深まるため、思いがけず自身の研究に有用な知見や技術について理解が深まります。また、共同研究を進めている研究者同士が、成果を前にして深い議論や新しいアイデアについて語ることができます。このような機会は、学会や研究会にはないもので、本シンポジウムの意義と考えられます。金沢を拠点としたがん研究者ネットワークがさらに広がるとともに、強固になっていく予感が感じられる機会にもなりました。

閉会挨拶
当研究所　平尾敦所長

閉会挨拶
金沢大学　福森義宏理事

### 口頭発表会場

左上から、大阪大学微生物病研究所　梶原健太郎助教、
和歌山県立医科大学先端医学研究所　邊見弘明准教授、
神戸大学大学院医学研究科　下野洋平准教授、
九州大学病院別府病院　三森功士教授、
東京大学先端科学技術研究センター　大澤毅特任教授、
当研究所がん治療標的探索ユニット　武田はるな助教

共同利用・共同研究拠点シンポジウムの外部評価員による総評
がん研究会がん研究所　中村卓郎副所長（左）
国立がん研究センター研究所　大木理恵子独立ユニット長（右）

# 金沢大学がん進展制御研究所

# 50周年記念 国際シンポジウム

*Cancer Research Institute, Kanazawa University*
*The 50th Anniversary International Symposium*

Venue
**Kanazawa Tokyu Hotel**

Date
**25 October 2017**

## 13:00–15:50 International Symposium

### Nick Barker

A* STAR Institute of Medical Biology, Singapore
Cancer Research Institute, Kanazawa University, Japan

**Lgr5+ stem cells in epithelial homeostasis, regeneration and cancer**

### David Virshup

Program in Cancer & Stem Cell Biology, Duke-NUS Medical School, Singapore

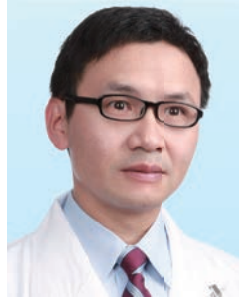
**Exploiting Wnt secretion pathways for therapeutic benefit**

### Seong-Jin Kim

Precision Medicine Research Center, Advanced Institutes of Convergence Technology, Seoul National University, Korea

**Lessons learned in translating preclinical studies in TGF-ß kinase inhibitor drug development:Rationale for combinatorial therapy regimens**

### Da-Qiang Li



Shanghai Cancer Center & Institutes of Biomedical Sciences, Shanghai Medical College, Fudan University, China

**Epigenetic silencing of RNF144A promotes breast cancer progression by enhancing the stability of HSPA2 protein**

### Seiji Yano

Cancer Research Institute, Kanazawa University, Japan

**Mechanism and circumvention of targeted drug resistance in central nervous system metastasis**

**金沢大学がん進展制御研究所50周年記念式典・祝賀会**

| | |
|---|---|
| 式 典 | 平成29年10月25日(水)16:00～ |
| 祝賀会 | 平成29年10月25日(水)18:00～ |

**平成29年度 共同利用・共同研究拠点 シンポジウム・成果発表会**

平成29年10月26日(木) 8:00～12:20
(ポスタービューイング 10月25日午後)

※ 記念式典、祝賀会、シンポジウム・成果発表会、いずれも国際シンポジウムと同じ会場(金沢東急ホテル5階)で行います。

主 催　金沢大学がん進展制御研究所
金沢国際がん生物学研究会

共 催　「がん進展機構の本態解明を目指す研究拠点強化プロジェクト」超然プロジェクト
金沢大学新学術創成研究機構
金沢大学ナノ生命科学研究所
「超少子高齢化地域での先進的がん医療人養成」北信がんプロ

【お問い合わせ先】
金沢大学がん進展制御研究所 共同利用・共同研究拠点推進室
〒920-1192 石川県金沢市角間町
Tel:076-264-6702　FAX:076-234-4527　E-mail:kyoten@adm.kanazawa-u.ac.jp
URL:http://ganken.cri.kanazawa-u.ac.jp/

KANAZAWA UNIVERSITY
超然プロジェクト CHOZEN PROJECT Kanazawa University
INFINITY 新学術創成研究機構
wpi World Premier International Research Center Initiative
NanoLSI WPI Nano Life Science Institute, Kanazawa University
okushin がんプロ